

## 2017年度 「日本語 III」(月曜3限)【読む・書く】授業予定

1 クラス：牲川 波都季

2 クラス：勝部 三奈子

3 クラス：横野 さゆる

これから研究してみたいテーマについて、クラスでの議論とレポート執筆からじっくり考えます。  
このプロセスを通じて、自らの専門分野の学びに必要なことばの力を獲得していきましょう。

### 1. 目標

日本語運用を通して、アカデミックなことばの力(ことばを用いて自らの問題と解決方法を見つけ出し、それらを他者とともに考えていく力)を身に付ける。この能力の基本として、日本語を使って学んでいけるという自信と学んでいきたいという意欲をもてるようになる。また安心して大学生活を送れるよう、他の留学生との関わりを深める。

### 2. 使用テキスト

(1) プリント教材

(2) 参考として、関西学院大学総合政策学部『改訂新版 基礎演習ハンドブック K.G.りぶれつと, no. 31』関西学院大学出版会、を使用する。

### 3. 授業内容

(1) 段階的にレポートを書き進める。

(2) 対話活動を実施し、研究テーマの問題意識を深め、レポートの一部とする。

(3) クラスメートの質問・助言をもとに、レポートを加筆・修正する。

(4) 専門分野に必要なことばの力の基礎を身に付けるとともに、今後研究してみたいことを明らかにする。

### 4. 今学期のレポート

(1) 「研究テーマとわたし」を共通テーマとする。

(2) 対話活動とクラスでの議論を踏まえ、研究テーマと問題意識を十分に深める。

(3) レポートの長さは3600字以上とする(上限の目安は4000字。それより長くなってもよい)。

(4) レポートに剽窃があった場合、日本語 III の月曜日の点数を0点とする。

(5) 最終レポートは、ウェブサイトなどで広く公開する。

## 5. 授業予定

回	月 日	授業内容	課題	課題提出日
1	4/10	オリエンテーション&自己紹介 アイデアを出す		
2	4/17	研究テーマを考える 1	テーマメモ 1	
3	4/24	研究テーマを考える 1	テーマメモ 1	
4	5/1	研究テーマを考える 1	テーマメモ 1	
5	5/8	研究テーマを考える 2・対話相手を考える	テーマメモ 2	
6	5/15	研究テーマを考える 2・対話相手を考える	テーマメモ 2	
7	5/22	研究テーマを考える 2・対話相手を考える	テーマメモ 2	
8	5/29	対話結果をまとめる	下書き	
9	6/5	対話結果をまとめる	下書き	
10	6/12	対話結果をまとめる	下書き	
11	6/19	研究テーマを決める 夏休みの課題について	最終レポート	
12	6/26	研究テーマを決める	最終レポート	
13	7/3	研究テーマを決める	最終レポート	
		最終レポート提出日から 1 週間以内	公開用最終レポート	
14	7/10	論文の探し方		

※予定に変更がある場合、クラス内で連絡する。

## 6. 評価

日本語 III の成績＝月曜日の成績 50%＋木曜日の成績 50%

月曜日	(1) 提出物	35 点	下記 7 参照
	(2) 報告	10 点	下記 7 参照
	(3) 積極的参加	5 点	下記 8 参照 (クラス活動への参加度と出欠)

## 7. 提出物と報告のポイント

	提出物	報告
(1) 研究テーマメモ 1	2.5	2.5
(2) 研究テーマメモ 2	7.5	2.5
(3) 下書き (対話結果含む)	12.5	2.5
(4) 最終レポート	10	2.5
(5) 公開用最終レポート	2.5	0

○提出物は、必ず決められた提出時限・時間に提出すること。遅れた場合、満点から 50%引く。提出しない場合、各提出物のポイントは 0 点。

○提出物は、クラスでの議論を踏まえ、必ず毎回修正すること。修正しない場合、各提出物のポイントは 0 点。

○(3)の提出物に対話の結果が含まれていなかった場合、(3)のポイントは 0 点。

○(1)～(3)の提出物に剽窃 (引用元・引用箇所を明記しない他者の著作物からのコピー・要約) があった場合、各提出物のポイントは 0 点。

○(4)の最終レポートの文字数が 3600 字未満だった場合、割合に応じてポイントを引く。

○(5)の公開用最終レポートに剽窃があった場合、日本語 III の月曜日の成績を 0 点とする。

## 8. 積極的参加

### 参加度

議論に積極的に参加しなかったり、提出物の修正程度が非常に少ない場合、ポイントを引く。

### 出席

- (1) 日本語 III (月＋木) の合計の欠席が 8 回以上の場合、不合格となる。
- (2) 遅刻は累積 90 分で 1 回の欠席としてカウントする。
- (3) 欠席 4 回目から欠席ごとに事務室を通じて呼び出し、警告する。
- (4) 成績の積極的参加のポイントから、欠席 1 回のごとに 1 点を引く。

## 9. 不合格になった場合の再履修

- (1) 再履修クラスはないため、不合格者は次年度に同じレベルのクラスを受講することになる。
- (2) I → (春) → II (秋) → III (春) → IV (秋) → V (春) の順に受講しなければならないため、III が不合格になった学生は、秋は日本語 IV を受講できず、来年の春に日本語 III を再受講することになる。

## 10. 夏季休暇中の課題と日本語 IV (秋学期)

- (1) 自分の研究テーマに関連して、読んでみたい論文を一本選び、選んだ理由などをまとめる。
- (2) 秋学期は、クラスメートとともに各専門分野の論文を読み、研究テーマの理解を深める。